

(別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	鮭川村役場
実習期間	令和2年 2月 17日 ~ 令和2年 2月 21日
学生氏名	矢作 杏奈
実習プログラム	◎2月17日(月) 午前 鮭川村エコパーク見学 午後 鮭の子館 販売体験 ◎2月18日(火) 午前 湯らっくす事業への参加（体力測定の補助） 午後 施設訪問 ひめゆり荘 施設訪問 さけがわりハビリセンター 役場にて村の事業内容の説明 ◎2月19日(水) 午前

空き家リノベーションプロジェクトの見学

鮭川村のイベントの企画を考える

午後

鮭川村のイベントの企画を考える

チラシ配り

鮭川村のイベントの企画を考える

◎2月20日(木)

午前

木の看板のニス塗り

今までのまとめ

午後

鮭川村のイベントの企画の付け足し

地域おこし協力隊の方と企画についての意見交換会

イベントの企画の最終まとめ

◎2月21日(金)

午前

今までのまとめ

まめだじゅカフェ参加

午後

地区サロン参加

最終まとめ

<p>学び・気づき (300字程度)</p>	<p>鮭川村役場では、「むらづくり推進課」と「健康福祉課」で実習を行いました。「むらづくり推進課」では、今後鮭川村で行えるようなイベントの企画を考えるという体験をしました。この体験を通じ、持客観的な立場から考えてみるということを学びました。「健康福祉課」では、「湯らつくす事業」、「まめだじゅカフェ」、「地区サロン」の3つの事業に参加させていただきました。そこで、人と人の繋がりや支え合いが必要だということを学んだのにプラスして、事業を行っている趣旨を深く理解することが出来ました。</p>
<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>今回の実習で、今まで以上に行政の仕事に興味・関心を持つことが出来ました。また、「人と人の繋がりや出逢い、お互いの支え合い」が本当に大切になってくると感じたので、これから先、私と関わってくれる人たちや関わり続けてくれる人たちを今まで以上に大切にしていきたいです。</p>
<p>インターンシッ プをして気づい た、実習先の魅 力 (300字)</p>	<p>年々人口が100人くらいずつ減ってきている鮭川村で、「何をしたら人が集まってくれるのか」、「若者のUターン・Iターンや移住・定住してくれるためにはどうしたらいいのか」、「少しでも人口を減らさないために多くの高齢者の方々にどんな活動をしたら長生きしてもらえるのか」などを、課題のある課の人たちが共有しながら考えていくのはもちろんですが、他の課の人にもアドバイスをもらったりと、毎日鮭川村のことを考えながら働いている職員さんたちの姿を見て、鮭川村を残し続けていきたいという強い思いが伝わってきました。「地元だから当たり前でしょ」と思ってしまう人がほとんどかもしれません。でもその当たり前が当たり前ができる人にもっと近づいていきたいと私は実習を通して思うことが出来ました。</p>